

# 平成26年度高齢者福祉施設事業方針

## 1. はじめに

法人は、高齢者福祉施設事業として2つの特別養護老人ホームと高齢者通所介護事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業を経営し、又市内の2カ所において地域包括支援センターを西宮市より委託運営を行っています。高齢者福祉施設事業の評価を行い、地域包括ケアシステムの拠点施設としての役割を発揮するために、これまでの事業を包括的に捉えることが重要だと考えます。

甲寿園は、昭和45年4月1日、阪神間で初めての特別養護老人ホームとして開設し、44年の歴史を重ね、西宮市の高齢福祉事業の先駆けとなってきました。阪神淡路大震災時は要援護状態の市民の福祉避難所となり、松生町でのケア付き仮設住宅の運営を行いました。平成13年、南館全面改築工事を行い、現在では入居者168名が暮らし、地域支援の拠点になっています。地域支援の拠点になる介護環境を充実させること、そして、介護職員の資質の向上を重視してきました。平成26年1月27日付「福祉新聞」に第11回施設と福祉機器～活用すればこれだけ変わる～特集として「働きやすい職場に」職員の腰痛予防のためにリフト導入事例として大きく掲載されました。

にしのみや苑は、平成11年3月18日、介護保険法施行前年に開設しました。にしのみや苑開設時の職員は、介護福祉専門学校卒の新任職員が中心であり、高齢者介護経験者は1名だけという人員でスタートしました。開設後、3年間の介護実践は高く評価され、NHKや週刊誌「ダイヤモンド」にも取り上げられました。15年を経過した現在では、施設の環境に応じた個別支援を中心に「笑顔で優しい、丁寧な介護」を定着させ、ノーリフト（抱えない介護）の実践を行っています。これまで高齢者福祉施設事業は、それぞれ事業方針をかかげ、連携しつつ独自の事業方針に基づいて事業を行い、連携して行うために合同管理者会議を毎月開催してきました。併設する短期入所生活介護事業では、平成25年度、西宮市における虐待や介護者急病等を理由とした緊急一時入所は3件の報告があり、当法人の2つの施設が受け入れを行いました。

芦原デイサービスセンターは、平成12年10月より西宮市より受託運営し、1階に障害者のデイサービス事業、2階に高齢者のデイサービス事業、深津地域包括支援センター、居宅介護支援事業を行っています。

平成24年8月、総合相談支援センターを開設し地域の皆様の近くで、甲山地域包括支援センター、訪問介護事業、居宅介護支援事業を運営しています。このように大きく発展させてきた高齢者福祉施設事業を法人として基本事業方針を掲げ、西宮市における地域包括ケアシステムの拠点として甲寿園、にしのみや苑が一体的に運営していきます。また、西宮市民の目線で見える甲山福祉センターの高齢者在宅支援事業をさらに発展させます。

## 2. 事業方針（共通する重点事業方針）

- 1) 特別養護老人ホームの利用率を安定させるために生活相談員が連携し入居計画を進めます。
- 2) 介護職員の資質の向上を目指し、介護実践の交流や研修会を開催します。
- 3) にしのみや苑の入居者、利用者の食事提供方法を甲寿園厨房で行えるように給食業務委託契約の見直しを行います。
- 4) 地域との連携を掲げ、高齢者在宅支援事業を一体的に運営します。
- 5) 事務担当者の連絡を密にし、物品購入、契約等での合同を進め経費削減を進めます。
- 6) 管理職合同会議を毎月開催します。